

平成 29 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカⅡ講座・准教授
氏名 Name	菊池 正和
専門分野 Academic Field	イタリア近現代演劇

主たる研究テーマ Principal Research Subject	1920 - 30 年代の未来派演劇の劇作法について
<p>近現代イタリア演劇における演出の成立過程を跡付けるという研究課題の一環として、平成 29 年度は 1920 年代のイタリア演劇に関する以下の研究を行った。</p> <p>(1) 劇作家ルイジ・ピランデッロの「劇中劇三部作」における「劇作家・登場人物」、「演出家・俳優」、「観客」の 3 者の関係を綿密に分析・図式化し、下記の論文にまとめた。 (論文) 「構造から分析するピランデッロの『劇中劇三部作』」 『天野恵退官記念論文集』（京都大学大学院文学研究科）2018 年 3 月 31 日（刊行予定）</p> <p>(2) 2017 年に生誕 150 年を迎えた劇作家ルイジ・ピランデッロの戯曲作品について、以下の講演・研究発表を行った。 (講演会) 「劇中劇三部作の驚きと魅力について」（2017 年 11 月 14 日、於：イタリア文化会館・東京） (研究発表) 「ピランデッロ『劇中劇三部作』の構造について」 (関西イタリア学研究会例会、2017 年 12 月 10 日、於：京都外国語大学)</p> <p>(3) 1920 年代の未来派演劇の劇作法の研究のために、特にフィリッポ・トンマーゾ・マリネッティの「連鎖シンテジ」(sintesi incatenate)と呼ばれる作品群について、先行研究を分析し、その劇作法を検討した。</p>	